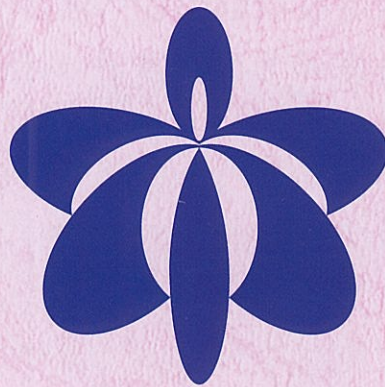


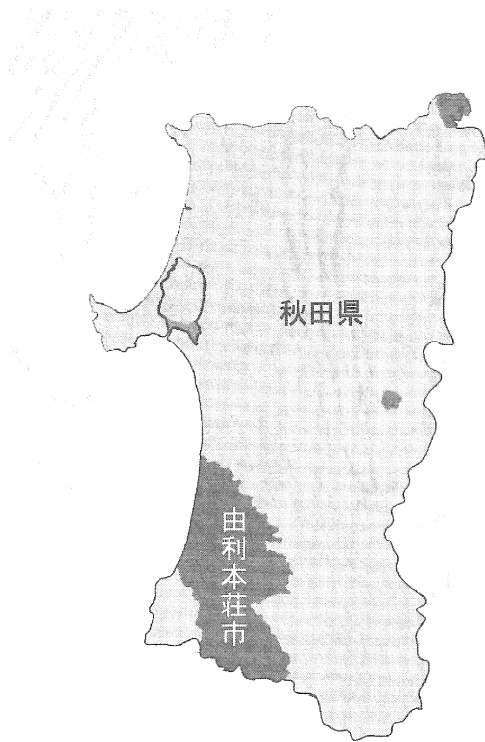
平成 23 年度

# 由利本荘市の教育



由利本荘市教育委員会

# 由利本荘市のあらし



## 位置, 面積, 地勢等

由利本荘市は、秋田県の南西部に位置し、北は秋田市、南はにかほ市、東は大仙市、横手市、湯沢市に接し、県都秋田市には20km～60kmの圏域にあります。

南に標高2,236mの秀峰鳥海山、東に出羽丘陵を望み、中央を一級河川子吉川が貫流して日本海にそそぎ、鳥海山と出羽丘陵に接する山間地帯、子吉川流域地帯、日本海に面した海岸平野地帯の三地域から構成されています。

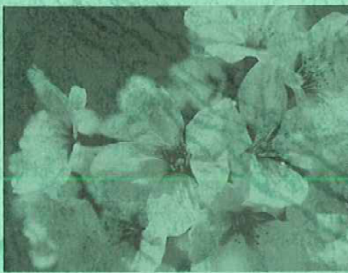
面積は、1,209.08km<sup>2</sup>（東西約32.3km、南北約64.7km）で秋田県の面積の10.7%を占め、県内一の面積を誇ります。

地目別では、山林75.8%（約917km<sup>2</sup>）、農用地が12.0%（約146km<sup>2</sup>）で、宅地は2.0%の約246km<sup>2</sup>となっています。

気候は、県内では比較的温暖な地域ですが、海岸部と山間部では気象条件が異なり、特に冬期においては積雪量に差がみられます。

### 市の花

さくら

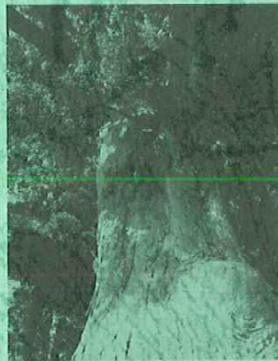


山に山桜、東由利に黄桜、本荘公園をはじめ各学校地内や通学路などで身近に感じることができ、子吉川や芋川は桜づつみとして近く桜のトンネルが新しい名所となる。

長い冬の寒さに耐え、待ちに待った暖かく明るい春を象徴しており、こぼれるほどに咲き誇る花と清らかな香りは人々を和ませる。

### 市の木

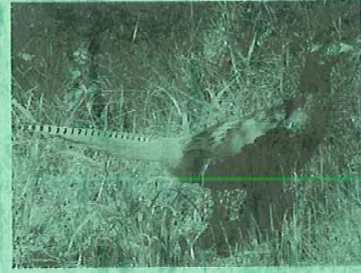
ケヤキ



代表的な広葉樹であり山地に自生するが、昔から人家の防風林として植えられたり、神社、仏閣、学校のシンボルなどでなじみが深い。材は堅く、木目も美しく、磨けばきれいな光沢が生じ、湿気にもよく耐える。枝は大きく四方に広がり、根が大地にしっかりと張り付く姿は逞しく力強く、無限の発展を感じさせるとともに本市発展の姿をイメージさせる。

### 市の鳥

キジ



日本の固有種で、国鳥に選定されている。農耕地、河川敷、草原など広く生息しており、美しい容姿と夫婦親子の強い愛情が、平和の原点を感じさせる。

## 由利本荘市民憲章

私たちのまちには、鳥海山の大きいなる恵みを受け、高原にさわやかな風そよぎ、田園うるおす清流が日本海へ続く、自然豊かなまちです。

ここに生きる私たちは、先人が築いてきた歴史と文化を大切に、産業を育て活力あるまちをつくり、責任を持って未来に引き継ぐため、この市民憲章を定めます。

- 1, 豊かな水と緑を守り育て、生命力に満ちた  
自然との共生につとめます。
- 1, 思いやりと感謝の心で助け合い、  
温かな家庭と平和なまちをつくります。
- 1, すすんで心身をきたえ、健康で笑顔あふれる  
明るい社会をきずきます。
- 1, ふるさとに学び、心を世界に開いて、  
文化の香り高い風土をそだてます。
- 1, 生きがいと誇りを持って仕事に励み、  
希望に満ちた明日へ向かってすすみます。

(平成19年11月1日制定)

# 由利本荘市歌

ゆつたりと大きな心で

作詞：谷川俊太郎  
作曲：谷川賢作

4  
 mp と き に そ い れ き し つ ら め き  
 さ と そ う る お し ひ と を む す ん で こ よ し が わ  
 mp  
 う み へ と む か う み ず の み ら  
 p そ の う み は さ め ぞ あ う さ か い へ ひ ら く せん  
 じ ん の ら え に ま な ん で き ょ う せ い き る  
 mp la la la la la la  
 mp ふ る さ と の し き お り お (お) り に  
 は な は ほ ほ え み か せ は か お っ て ち ょ う か い の  
 mp  
 や ま き よ ら か に す そ を ひ き  
 p い た だ き は め く る め く う ち ゅ う に つ づ く mf こ ど  
 も ら と と も に ゆ め み て あ す を つ く る  
 mp la la la la la la ash ash

由利本荘市歌

谷川俊太郎

時に添い歴史つらぬき  
 望とうるおし人をあずんで  
 子吉川 海へと向かう水の道  
 その海ほせのぞあう世界へひらく  
 先人の知恵に学んで今日を生きる  
 ふるさとの四季おりおりに  
 花ほほほえみ風は薫って  
 鳥海の山きよらかに裾をひき  
 頂ほめぐるめく宇宙につづく  
 子どもらとともに夢見て明日を創る